

2012年 JMRC西日本 ジムカーナフェスティバル in 近畿

開催日程:2012年10月27日(土)~28日(日)
開催場所;名阪スポーツランド・Cコース
オーガナイザー:LAZY W. S
協力:JMRC中部、JMRC中国、JMRC四国、JMRC九州、JMRC近畿
後援:JMRC近畿ジムカーナ部会



2012年の西日本フェスは、紅葉の始まりつつある山々に囲まれた奈良県山添村の名阪スポーツランドで開催された。

初参戦の選手からは想像より狭いとの声が聞かれた。合言葉は「思った以上に狭いぞ名阪」?

スリッピーなコンクリート舗装や、乗ってしまうと姿勢を乱す高い縁石など、名阪を初めて走る選手には難易度高め。



名阪Cコースに隣接したCパドックは主にSタイヤ車両が中心。タイヤサービスやケータリングなども置かれる。



こちらは激坂を下ったところにあるラジアルタイヤ車両が中心のDパドック。観戦エリアやCパドックとはシャトルバスが往復しており、運動不足の選手には好評(笑)

10月27日(土)



土曜日の公開練習は気温も高く、絶好のジムカーナ日和に。この天候が明日まで続くよう願うばかり。



各ドライバーもコース攻略に余念なし。

U-STREAMでの生中継も行われた。

10月28日(日)



前日の願いむなく、明けて日曜日の決勝は秋雨前線の影響で朝から小雨が降り続く空模様。予報では昼過ぎから回復の見込みのため、勝負は2トライ目か。



九州から名阪に挑んだ11名のドライバーたち



小河原佑介選手:B1クラス優勝
徐々に路面が乾き始めた2トライ目、前走の関岡選手の叩き出した全体ベストを渾身の走りで100分の2秒上回り堂々の優勝！おめでとう！（左から、関岡選手、吉原選手、小河原選手）



関岡優季選手:B1クラス2位
2トライ目に僅差で小河原選手にかわされ無念の2位。しかし九州勢のワンツーで九州K軍団を強烈に印象付けた。



吉原幹二選手:B1クラス4位
3位にコマ2秒届かず惜しくも4位！九州勢の表彰台独占はならなかった、表彰式では今日一番の笑顔を見せた(笑)



米田泰章選手:B1クラス9位
天候が回復しつつあった2トライ目に全てを掛けたが痛恨のミスコース！九州勢の上位独占も有り得ただけに、本人が一番悔しいはず。



園田大輔選手:R1クラス16位
午後から他の選手が次々とにベストタイムを更新する中、2トライ目に痛恨のパイロンパネルティを喫して無念の16位。



河崎大輔選手:R1クラス19位
未知の名阪の攻略に苦しんだ河崎選手。1トライ目のミスコースも響き要所を攻めあぐね無念の19位という結果に。



飯田慶選手:R1クラス18位
珍しい4ドアインテRで名阪に挑んだ飯田選手。2トライ目にタイムアップを果たすも18位でフィニッシュ。



花本豊壽選手:R2クラス20位
R2クラスの2トライ目の直前に再び雨が降り出し、持ち前のアグレッシブな走りが発揮できなかったか。最終的に20位でフィニッシュ。



田添健吾選手:R2クラス22位
土曜日のコースアウトやカギの件でリズムを崩した田添選手。決勝日の低μウェット路面にも手こずり22位に沈む。



坂田龍雄選手:R3クラス18位
滑る路面にサーキット向きの足周りで苦戦を強いられた九州勢唯一の4駆、坂田選手。2トライ目のパイロベンタルティ2も響き18位。



阿比留慎一選手:NSA3クラス3位
貫禄の走りで3位表彰台を獲得。しかし2位との差コマ2秒という結果に「まだ行けた」と要所を攻めきれなかったことに若干の不满を残していた。



西フェス恒例の地区対抗戦の結果は、地元「近畿Aチーム」でした。おめでとう！一方の「九州四国連合チーム」はK軍団の活躍も実らず6位。



栄光の盾は誰の手に・・・



JMRC近畿のご好意により、九州の選手は優先的に帰路につくことが出来た。



表彰式の最後は、各地区ジムカーナ部会長による巨大クラッカーで締め！



来年2013年の西フェスは中国地区開催。九州からも近いので、これを読んでいるあなたも一緒に行こう！